

去年の夏 突然に (1959)

SUDDENLY, LAST SUMMER

メディア 映画

ジャンル ドラマ ミステリー

製作国 アメリカ/イギリス

色彩 B&W

時間 114分

初公開日 1960/03/15

公開情報 C O L

【解説】

1937年、南部ニューオーリンズの州立精神病院の脳外科医に招かれた医師クックロビッツ（クリフト）は、ロボット手術を姪に施すことを条件に、莫大な基金の提供をヴェナブル夫人（ヘプバーン）より申し出られた。食虫植物を可愛がる不思議な夫人は、去年の夏亡くした息子の思い出ばかり彼に語って聞かせる。一冊の詩集も残さなかった“詩人”息子セバスチャンはスペインの海水浴場で姪キャサリンと一緒にいる時に急死し、以来、彼女の様子がおかしく暴力的なので手術をして欲しい、と言うのだ。実際、キャサリン（リズ）に会ってみた彼は、確かに精神の異常を認めながらも、手術の必要はないと断じ、彼女の記憶を呼び戻し、セバスチャンの死の真相に迫るのが治療の最良の方法と診察を続けるが……。原作者T・ウィリアムズが虚構の中で孤独に憑かれ始めた頃にした“最後の傑作”戯曲の映画化で自ら脚本も手がけた。己のセクシャルな問題を、それまで以上に突き詰めて異様な世界を展開している。マンキウィッツの演出は終幕近くに映像的に見るものがある。

【クレジット】

監督	ジョセフ・L・マンキウィッツ	Joseph L. Mankiewicz	
製作	サム・スピーゲル	Sam Spiegel	
原作	テネシー・ウィリアムズ	Tennessee Williams	
脚本	テネシー・ウィリアムズ	Tennessee Williams	
	ゴア・ヴィダル	Gore Vidal	
撮影	ジャック・ヒルデヤード	Jack Hildyard	
編集	ウィリアム・ホーンベック	William Hornbeck	
	トーマス・G・スタンフォード	Thomas G. Stanford	
音楽	マルコム・アーノルド	Malcolm Arnold	
	バクストン・オアー	Buxton Orr	
出演	キャサリン・ヘプバーン	Katharine Hepburn	ヴェナブル夫人
	エリザベス・テイラー	Elizabeth Taylor	キャサリン・ホリー
	モンゴメリー・クリフト	Montgomery Clift	クックロビッツ
	アルバート・デッカー	Albert Dekker	ホックステイダー
	マーセデス・マッケンブリッジ	Mercedes McCambridge	ホリー夫人
	ゲイリー・レイモンド	Gary Raymond	ジョージ・ホリー
	メイヴィス・ヴィラーズ	Mavis Villiers	フォックスヒル